



旭化成グループとしてヒートポンプ・蓄熱システムの導入を積極的に推進



旭化成 新事業開発棟

旭化成株式会社は、中期経営計画「Growth Action-2010」の重点領域である電子・光学材料および環境・エネルギー分野の研究開発、新規事業創出拠点として、静岡県の富士支社内に「新事業開発棟」を建設した。

新事業開発棟については、量産試作ラインや実用性能評価設備をフレキシブルに投入できる大型クリーンルームなどを設置するとともに、国際的なフォーラムの開催など、世界へ情報を発信できる高度なIT機能も備えている。

また、自然環境や業務環境にも配慮し、屋上緑化を図るとともに、効率性・環境性に優れたヒートポンプを採用した。

一般実験室および事務棟には、ランニングコストを評価してエコ・アイス(ビル用マルチ)を、24時間空調を行うクリーンルームには高効率ヒートポンプ機器を採用した。

既存の研究棟などは、24時間空調のためエコ・アイスの採用には至らなかったものの、熱源機を高効率ヒートポンプ機器に更新。さらに、富士支社内の関連企業の熱源機更新においても高効率ヒートポンプ機器を採用するなど、旭化成グループとしてヒートポンプ機器および蓄熱システムの導入を積極的に推進している。

旭化成 新事業開発棟

- ・所在地：静岡県富士市鮫島2-1
- ・延床面積：22,300㎡ ・竣工：2009年
- 蓄熱設備概要
エコ・アイス(ビル用マルチ) 39台